

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 評価書（事後評価書）

平成 27年 5月 28 日

計画の名称	1 平良港海岸（パイナガマ地区）における市民や観光客の安全安心の向上																					
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）	交付対象	宮古島市																			
計画の目標	パイナガマ海岸は宮古島市の市街地に隣接し、市民の憩いの場として活用されているが、台風襲来等により海浜の浸食や背後地等への飛砂被害及び護岸の老朽化が進んでいることから、護岸の改良を行い安全・安心な環境を図る。																					
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチ利用者数を46,400人（H21）から48,500人に増加。 ・地域住民の防災意識を100%にする。 																					
定量的指標の定義及び算定式				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H21当初)</th> <th>中間目標値 (H23末)</th> <th>最終目標値 (H25末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パイナガマ入域者数（推計）より。</td> <td>46,400人</td> <td>47,450人</td> <td>48,500人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防災説明会を開催し地域住民の防災意識を高める。</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)	パイナガマ入域者数（推計）より。	46,400人	47,450人	48,500人		防災説明会を開催し地域住民の防災意識を高める。	-	-	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																		
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)																			
パイナガマ入域者数（推計）より。	46,400人	47,450人	48,500人																			
防災説明会を開催し地域住民の防災意識を高める。	-	-	100%																			
全体事業費	合計 (A+B+C)	151百万円	A	150百万円	B	0百万円	C	1百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.0%												

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
計画期間終了後、必要データを速やかに招集し事後評価を実施する。	平成26年度 公表の方法 宮古島市のホームページ等で掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

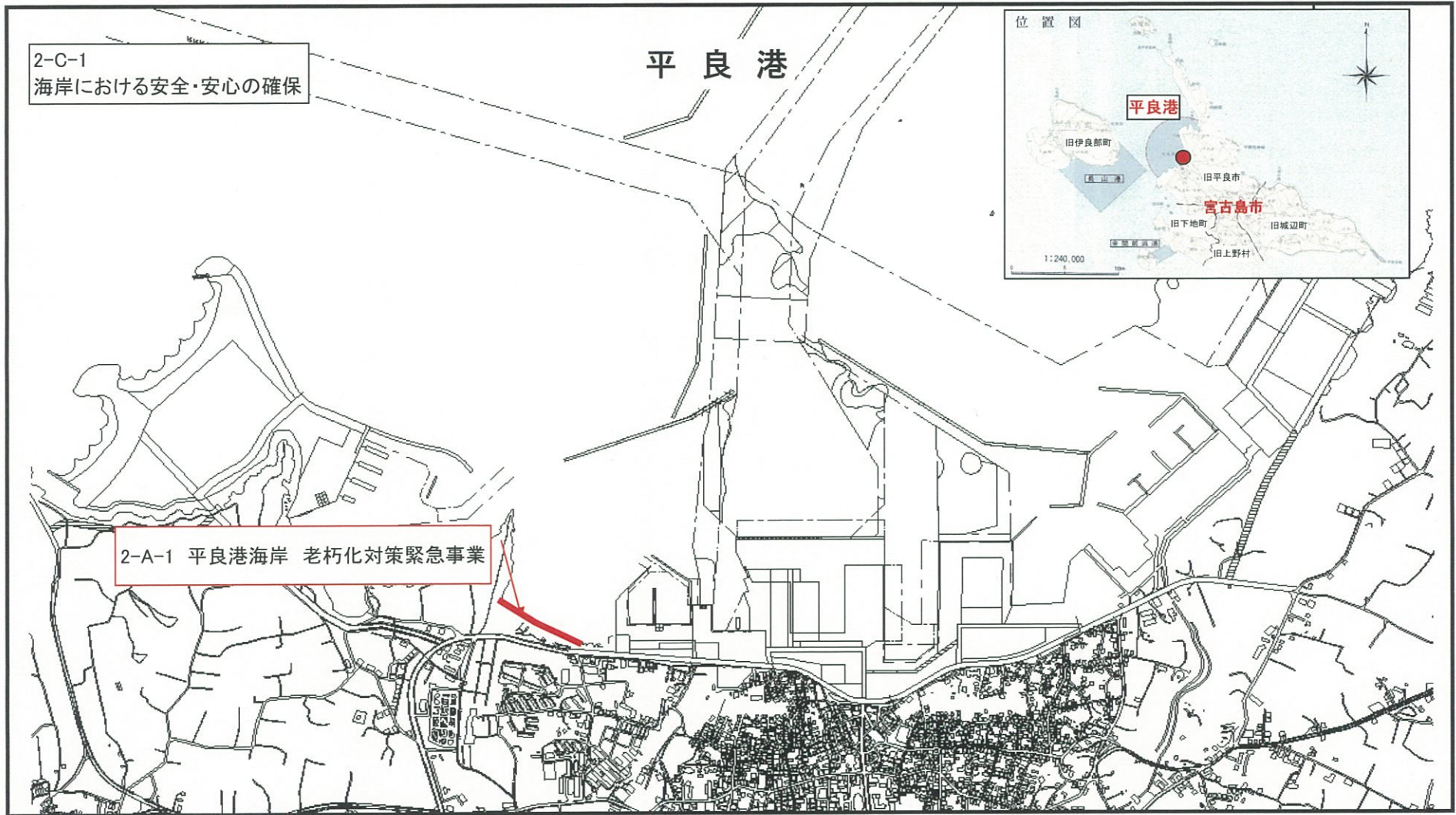
交付対象事業																	
A1 海岸事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
2-A-1	海岸	一般	宮古島市	直接	-	護岸	継続	平良港海岸 老朽化対策緊急事業	延長 L=269m	宮古島市						150	
小計（道路事業）											150						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H21	H22	H23	H24	H25		
2-C-1	活動支援	一般	宮古島市	直接	-	防災意識の高揚	海岸における安全・安心の確保	防災説明会・海岸清掃支援	宮古島市						1	
											合計	1				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
1-C-1	防災説明会を開催することにより、地域住民の防災意識を高める。 海岸清掃等ボランティア活動の支援を行う。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

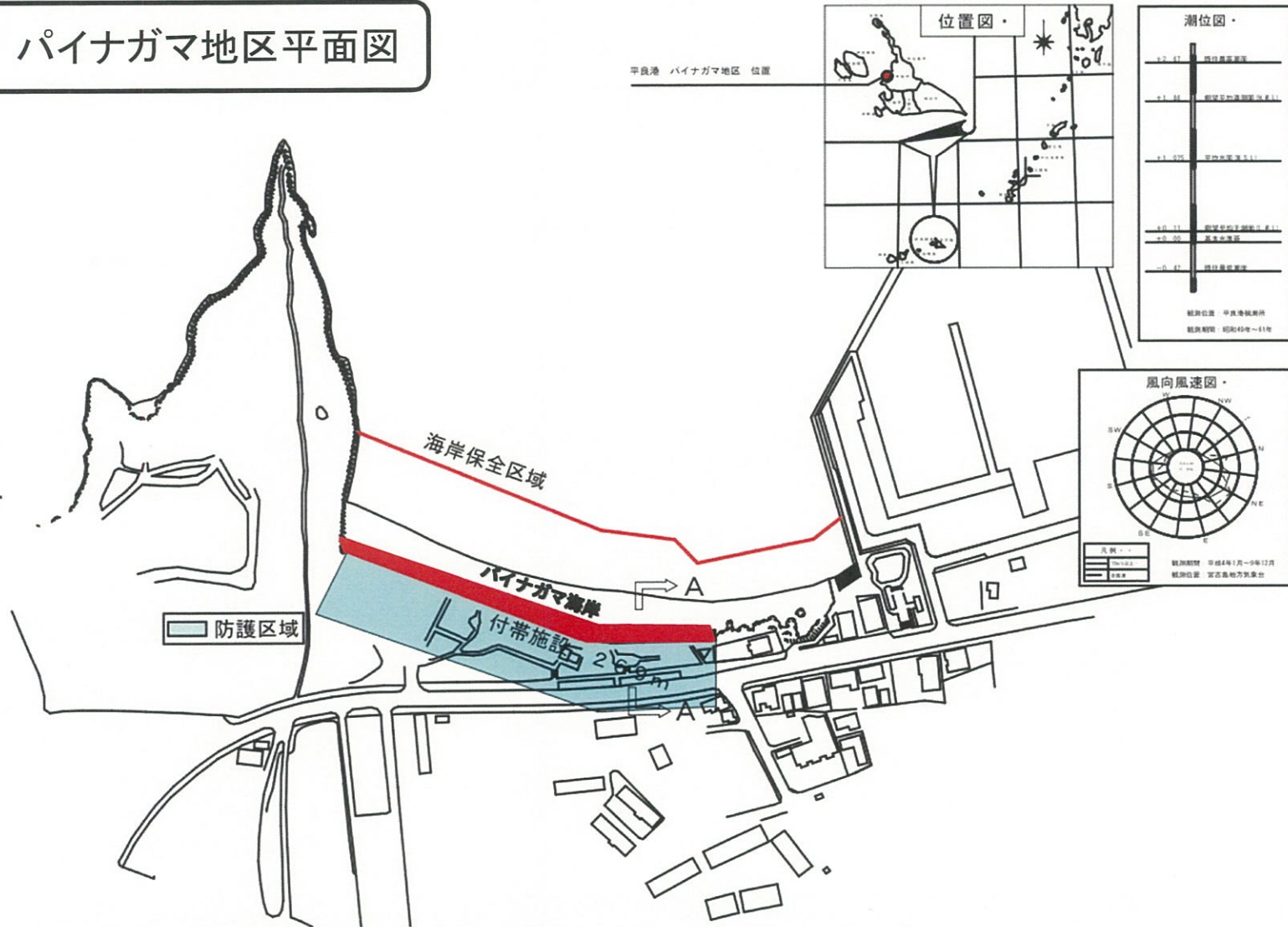
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 護岸の老朽化対策によりビーチへのアクセスが向上し、親水性を兼ね備えた護岸として安心安全な利用が図られ、利用客数の増加につながっている。 当事業において、説明会、チラシ等の配布、案内板設置及びボランティア清掃活動支援の実施により、地域住民の防災意識の向上が図られた。 									
II 定量的指標の達成状況	指標①（ビーチ利用者数を46,400人（H21）から48,500人に増加）	最終目標値	48,500人	目標値と実績値に差が出た要因	護岸の老朽化対策により、ビーチへのアクセスが向上し利用客数の大幅な増加につながっている。						
		最終実績値	55,300人								
	指標②（地域住民の防災意識を100%にする。）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	-						
		最終実績値	100%								
			最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因						
			最終実績値								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> 防災説明会が地元の新聞に取り上げられた事により、地域住民のみならず、より多くの市民や観光客に防災意識の向上が図られた。 									
3. 特記事項（今後の方針等）											
<ul style="list-style-type: none"> 利用状況等を調査しながら課題を適宜検討していく。 											

計画の名称	2 平良港海岸（バイナガマ地区）における市民や観光客の安全安心の向上	交付対象	宮古島市
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度（5年間）		



計画番号	都道府県名	市町村名	計画名	交付期間	交付対象事業	事業名	備考
2-A-1	沖縄県	宮古島市	平良港海岸(パイナガマ地区)における市民や観光客の安全安心の向上	平成21年度 ～平成25年度	海岸	平良港海岸 老朽化対策緊急事業	
2-C-1					活動支援	海岸における安全・安心の向上	

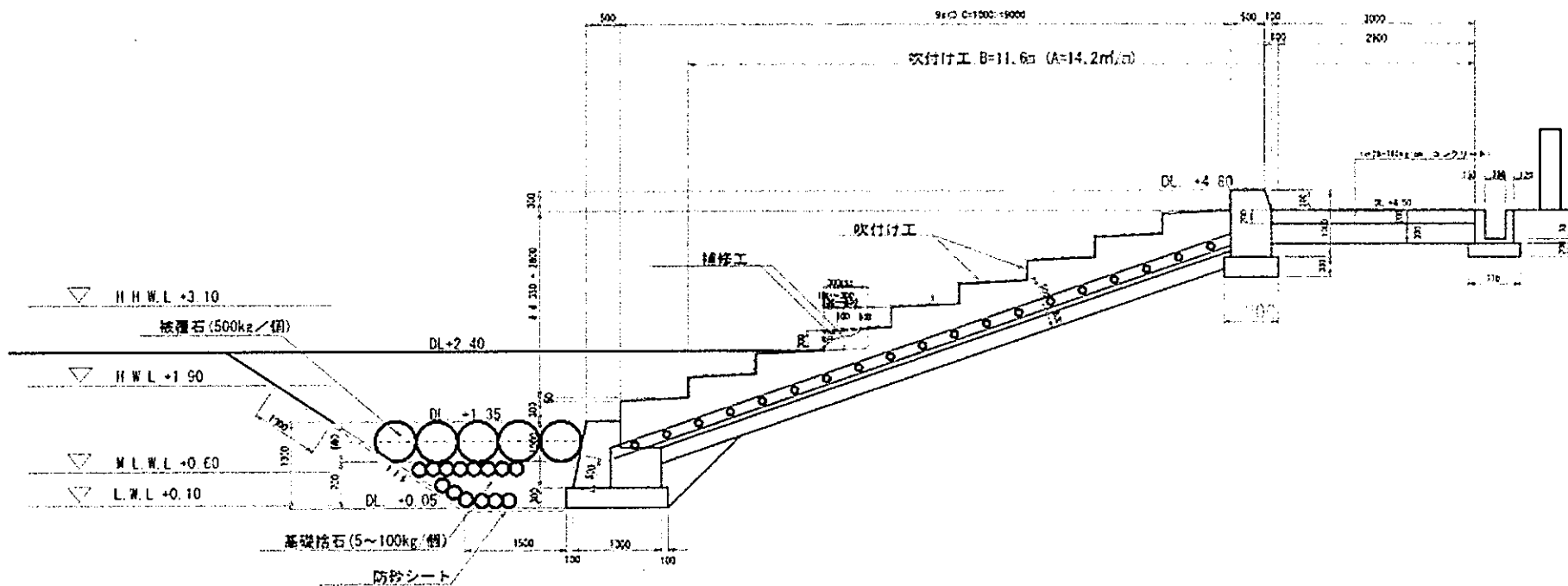
平良港 パイナガマ地区平面図



計画番号	都道府県名	市町村名	計画名	交付期間	交付対象事業	事業名	備考
2-A-1	沖縄県	宮古島市	平良港海岸(パイナガマ地区)における市民や観光客の安全安心の向上	平成21年度 ～平成25年度	海岸	平良港海岸 老朽化対策緊急事業	
2-C-1					活動支援	海岸における安全・安心の 向上	

平良港 パイナガマ地区
海岸事業 標準断面図

護岸断面図



計画番号	都道府県名	市町村名	計画名	交付期間	交付対象事業	事業名	備考
2-A-1	沖縄県	宮古島市	平良港海岸(パイナガマ地区)における市民や観光客の安全安心の向上	平成21年度 ～平成25年度	海岸	平良港海岸 老朽化対策緊急事業	
2-C-1					活動支援	海岸における安全・安心の 向上	

平良港 パイナガマ地区 効果促進事業活動内容



沿岸防災説明会の開催



ボランティア清掃活動支援



海岸施設案内板の設置